

「演奏会で聞いてくれた人が、心に何かを持って帰ってもらえたら」と話すマテイヤス・バーメルト



1942年、スイス生まれ。ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団の首席オーボエ奏者を経て指揮者になり、シモン・セルやレオポルド・ストクナスキーに学んだ後、クラーゲンフルト、ハリの各管弦楽団といった世界各地のオーケストラで常任指揮者や音楽監督などを務める。80作以上の録音作品をリリースしている。

札響



「前回来た時おたくさん
置が降っていました。スイ
スの管楽器部ではこんなに緑
い葉を飾りどがあまりませ
ん。2年前に来る前はこれ
ほど良いオーケストラとは
思っていませんでした」
みんな顔張るので仕事もし
やすくマテイヤスの声

です。ね。
2014年1月の定期以来
——札響は初指揮だった

聞いた。(天原智也)

「札響は初指揮だった」
の演奏曲などについて
の「絵」をはじめとする
ベル組曲「展覧会
る。ウルグスキー(ラ
2年ぶりに札響を指揮す
テイヤス・バーメルトが
出身で作曲家でもあるマ
キタで鳴かれ、スイス
王午後の時から、札幌。
が10月半後、時、23日
の第35回定期演奏会

札幌交響楽団(札響)

興味持ち続けること重要

ストホルン・セナタード』な
と演奏した曲もとても良か
った。今回は前よりも大
編成で、初めてのメンバー
も3分の1ぐらい。それで
物は一人。『マ・メル。
ロコ』もそうですが、いつ
——日本でも人気のハイ
オリニスとでサベル・フ
アストロ・ミンテル・フ
1つのハイオリン協奏曲で
指揮します。
「彼女とは何故か一緒に
仕事をし続け、互いによ
く知っていますが、素晴らしい演奏家。アスタード
ス(傑作)といえる大切な
曲と一緒にできるのは楽し
みで、期待しています」
——ラベルの組曲「マ・
メル・ロコ」や、彼が編
曲したウルグスキーの一
「展覧会の絵」も演奏しま
しますが、それは音楽とい
うものが生き続けているか
あるストホルン・セナタード
でも出ていますが、今回
「ラベル組曲と心でやり
ますか」と聞かれ、迷わず
「ラベル編でやりたい」と
答えました(笑)。知って

あすから第55回定期 バーマルト2年ぶりの指揮